

一枚指導案集 2年生国語 「アレクサンダとぜんまいねずみ」

③アレクサンダも～「…かわいがられてみたいなあ。」

☆本時の目標

- ・仲良くなった二人がいろいろな楽しい話をし合う様子を読み取らせる。
- ・一人になったときに人間たちに可愛がられるウィリーをうらやましく思うアレクサンダの気持ちを読み取らせる。

教師の働きかけ	児童の応答予想	教師の対応と組織
<p>今日勉強する場面を読んで下さい</p> <p>アレクサンダは誰と友だちになりましたか？</p> <p>どんなときにアレクサンダはウィリーに会いに行ったと思いますか？</p> <p>アレクサンダはどんな話をしてあげましたか？</p> <p>ウィリーはどんな話をしてくれましたか？</p>	<p>音読（2～3名）</p> <p>ウィリー ぜんまいねずみ 自分では動けない でも、家の人からはかわいがられている</p> <p>家の人がいなくて アニーの部屋に誰もいないとき</p> <p>家の人に見つかったら 追いかけられる 悲鳴をあげられる ものを投げられたりするから</p> <p>ほうきや空飛ぶお皿の話 ネズミとりのぼうけんの話 ほうきで追いかけられる話 お皿を投げつけられた話だと思う ネズミとりにつかまり そうになった話だろう</p> <p>ペンギンやぬいぐるみのくまの話 アニーの話</p>	<p>☆本読みの練習をがんばってきた子を授業前につかんでおいて指名に生かす (H O, I M, T A, M Yにねらいをつけて確認しておく) 【第2時にうまく入らせ切れなかった子にも声をかけておく】</p> <p>☆せりふの読み方に焦点をあてて評価を入れる</p> <p>☆本を持って聞いている子や班を評価する</p> <p>☆名前以外のウィリーの特徴について出てきたら評価する</p> <p>☆かわいがられていることをいいこととして意識づけておく</p> <p>☆理由がつけ足しで出てこないときには、いつでも自由に行けないわけ聞き返していく</p> <p>☆話をくわしくつけ足す子を評価しながらいろいろな言い方で表現することをうながす</p> <p>☆詳しく聞き返しながら、結局ウィリーの話はかわいがられる話になってることを意識させたい</p>

発問・指示等	児童の応答予想	教師のタクト
<p>アレクサンダはウィリーのところへよく行ったのかなあ、あまり行かなかったのかなあ？</p> <p>けれど、かくれがに帰ったときはアレクサンダはどんなことを考えていたでしょう？</p> <p>隠れ家で一人ぼっちのアレクサンダになったつもりで、最後のせりふを読んで下さい</p>	<p>よく行ったと思う ウィリーと話していたら楽しいからよく行ったと思う 何時間も話すくらい楽しかった 友だちができて楽しいから何度も行った 隠れ家でいたら一人ぼっちだから</p> <p>ウィリーはいいなあ ウィリーみたいなぜんまいねずみになりたいなあ ウィリーみたいにかわいがられたいなあ</p> <p>音読（10名程度）</p>	<p>☆楽しい理由として新しい友だちということと一人ぼっちということをおさえておきたい</p> <p>☆吹き出しにアレクサンダが考えていることを書かせてから発表させる</p> <p>☆吹き出しの発表を聞きながらうらやましく思う理由についても引き出していきたい</p> <p>☆あとの場面での葛藤の元となる部分なのでていねいにおさえておきたい</p> <p>☆子どもの状態や時間帯によってはもう少し人数を増やしてもいい</p> <p>☆うらやましいという気持ちをのせようとしていることを評価していく</p>

次時の予告

④ある日、～「…かえられるっていうの？」

【ウィリーの話聞いてアレクサンダはどう思ったのでしょうか】